

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年1月13日(2011.1.13)

【公開番号】特開2009-144006(P2009-144006A)

【公開日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2007-321108(P2007-321108)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D	11/00	
B 4 1 M	5/00	E
B 4 1 J	3/04	1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月24日(2010.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着色剤、ポリマー粒子、水100g(20)に溶解しうる最大重量が5g以下であって、エステル化合物、エーテル化合物、及びスルホン酸アミド化合物からなる群から選ばれる一種以上である水不溶性有機化合物(ただし、脂肪酸誘導体を除く)、並びに、炭素数4~12のアルカンポリオールを含む、インクジェット記録用分散体。

【請求項2】

前記水不溶性有機化合物が、(f)分子中に、エステル又はエーテル結合を2個以上有する、エステル又はエーテル化合物、及び/又は(g)分子中に、エステル又はエーテル結合を1個以上と、カルボキシ基、硫酸基、スルホン酸基、ホスホン酸基、リン酸残基、カルボニル基、エポキシ基及び水酸基からなる群から選ばれる1種以上の官能基を1個以上有する、エステル又はエーテル化合物である、請求項1に記載のインクジェット記録用分散体。

【請求項3】

前記水不溶性有機化合物と、前記アルカンポリオールとの溶解パラメータ(S P値)の差の絶対値が、6以下である、請求項1又は2に記載のインクジェット記録用分散体。

【請求項4】

前記アルカンポリオールが1,2-アルカンジオールである、請求項1~3のいずれかに記載のインクジェット記録用分散体。

【請求項5】

着色剤がポリマー粒子に含有されてなる、請求項1~4のいずれかに記載のインクジェット記録用分散体。

【請求項6】

請求項1~5のいずれかに記載のインクジェット記録用分散体を含有する、インクジェット記録用水系インク。